

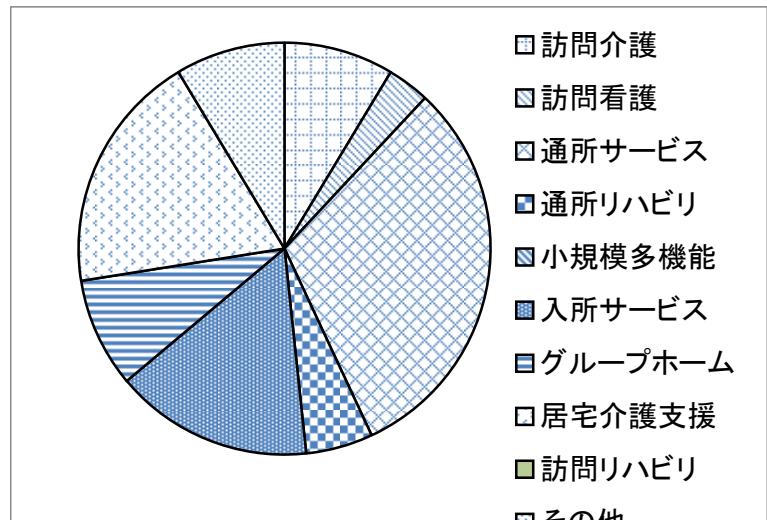
H26年度東近江市介護サービス事業者協議会 全体研修会 アンケート集計結果

【6/11「アザレアンさなだの取組と地域包括ケアについて」 宮島渡氏】

回答者58人(回答率45.7%)

1.あなたの従事している事業についてお答えください。

訪問介護	5人
訪問看護	2人
通所サービス	18人
通所リハビリ	3人
小規模多機能	0人
入所サービス	9人
グループホーム	5人
居宅介護支援	11人
訪問リハビリ	0人
その他	5人



2.今回の研修であなたが感じられたこと、学ばれたことを教えてください。

- ・今後は一層地域包括が重要となってくることを学ばれた。 5
- ・地域密着がとても重要。地域参画に取り組むことがとても印象的。 3
- ・地域に出ていくことの大切さを知った。認知症の方へは支配的にならない。 2
- ・地域とのつながりや在宅での暮らしを継続し続けるためのヒントを頂けた。
- ・24時間365日の必要性、地域とのつながりや地域づくりの重要性。 8
- ・24時間365日の必要性は分かったが、具体的にどのような人員配置でやっているのか。
- ・特養と地域包括ケアの違いが明確にわかった。今までの研修で一番の参考となった。
- ・特養から地域に関わる方法や具体的ビジョンを考えるうえでよいヒントを頂けた。
- ・発想の転換で個別ケアを実現しながら施設の規模を拡大されることに、目からウロコでした。
- ・自由な取組みにワクワク聞かせてもらい、介護保険の枠に縛られず、やってみようという力をもらった。
デイが生き残るためにはどうしていけばよいのか、考えねばならない
- ・住民がGH、DSを必要とされていることが分かった。専門的な介護が必要である。
- ・認知症の方や家族の方が穏やかによくケアしていけるさまざまな方策を伺え刺激になった。
- ・認知症の人への認識、対応の仕方が参考になった。 2
- ・考え方に広がったように思う。 2
- ・地域における介護サービスのあり方を考え直すことができた。 3
- ・地域を見据える、世界の動向を学ぶことができた。
- ・どうすればよいのか。管理者には参考になったと。 2
- ・経営者として目からウロコの話で、大変参考となった。 2
- ・とても分かり易い施設の取組やお話を聞かせていただき。 2
- ・将来を見通した中でプロの仕事をしていかなければ生き残れないと実感した。
- ・言葉の持つ力言葉には意味がある。前向きプラス思考等考えること大変参考になりました。
- ・介護報酬改定を見据えた事業運営、計画が必要。

3・今後の研修会で希望するテーマがあれば具体的にご記入ください。

- ・職種別研修会
- ・グループに分かれての意見交換
- ・今回のような先進的取り組み事例について
- ・認知症についてもっと理解を深めたい
- ・認知症初期集中支援チームについて
- ・新しい介護保険制度の動き 3
- ・看取り、医療との関係
- ・医療と介護の連携
- ・東近江市の目指す地域包括システムについて
- ・利用者と家族の双方が満足できる介護のあり方
- ・実践的なレクリエーション、介護技術(移乗、トイレ介助等)の研修
- ・グループホームの今後の方向性
- ・地域包括、診療報酬など今回の講演であったことをもっと詳しく知りたい。

4・その他、当協議会等に対する要望・意見などご自由にご記入ください。

- ・介護福祉資格が取りやすい道を作ってほしい(勉強できる場など)
- ・自主的な勉強会等があれば参加したい
- ・プロジェクターで仕方ないかもしれないが、黒板の文字が見えなかった。
- ・開会時、会場が騒がしく聞こえなかった
- ・役員の皆さん、ごくろうさまでした 3